

製品名: CLIP-170 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09045**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	161kDa

抗原情報

遺伝子名	CLIP1 CLIP1; CYLN1; RSN; CAP-Gly domain-containing linker protein 1; Cytoplasmic linker protein
別名	1; Cytoplasmic linker protein 170 alpha-2; CLIP-170; Reed-Sternberg intermediate filament-associated protein; Restin
遺伝子 ID	6249.0
SwissProt ID	P30622
免疫原	抗血清はヒト CLIP1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1291-1340

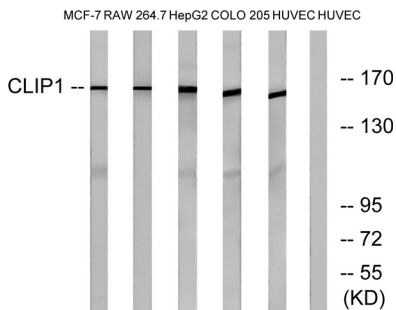
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、エンドサイトーシス小胞を微小管に連結する。この遺伝子は、ホジキン病のリード・シュテルンベルグ細胞で高発現している。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2011年10月]機能: エンドサイトーシス小胞を微小管に連結する中間径フィラメント関連タンパク質と考えられる。類似性: 2つのCAP-Glyドメインを含む。細胞内局在: 細胞骨格に関連。組織特異性: ホジキン病のリード・シュテルンベルグ細胞で高発現。

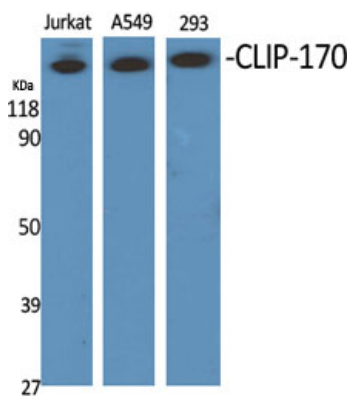
研究分野

微小管ダイナミクスの制御

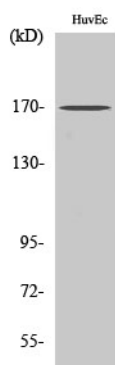
画像データ



CLIP1 抗体を用いた HUVEC、COLO、MCF-7、HepG2、RAW264.7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CLIP-170 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



CLIP-170 ポリクローナル抗体を用いた RAW264.7 細胞のウェスタンブロット解析